令和７年度　東温市地域自立支援協議会　専門部会説明資料

子ども部会

子ども部会は、障がいのある子ども及びその家族への支援をより良いものとするため、医療、福祉、教育等の関係機関が集まる協議の場である。情報共有や連携強化を図り、地域の課題解決に取り組むことで、途切れることのない一貫した支援体制を構築し、子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えることを目的としている。

＜令和７年度の方針＞

・保護者へ研修を行うことにより、情報発信の場を確保し、同じ悩みを抱える保護者同士がつながれる場を設ける。
・障がい児や家族が抱える地域の課題をあげ、問題提起して部会にて事例検討会で話し合い解決に向けて共に考えていく。
・地域課題提出シートが提出された際には、必要に応じて部会を開催し協議していく。

(部会)

○第３回（令和８年３月５日（木）１３時３０分～１４時３０分）

活動報告と来年度の活動について協議される予定である。

(小部会（保護者部会・事業所等部会）)

・保護者部会は特別支援学校や特別支援学級に通う子どもの保護者及び発達に不安な子どもをもつ保護者が対象
・事業所等部会は市内の児童発達支援・放課後等デイサービス・多機能型事業所・タイムケア事業所等の職員が対象

○第２回（令和７年１０月１６日（木）１０時００分～１２時００分）

相談支援部会と合同で開催。愛媛大学大学院医学系研究科准教授の河邉憲太郎氏を講師に招き、「発達障がいの疑いグレーゾーンと言われたら～子育ての仕方について学ぼう～」をテーマとした講演会・茶話会を実施し、３４名が参加した。

講演では、①発達障がいとは何か②発達障がいの疑いと言われたら③発達障がいの診断について④グレーゾーンについて⑤子育ての仕方について講義いただいた。参加者からは「グレーゾーンと疑いの違いが理解できた」「グレーゾーンであることで支援を受けやすくなるという前向きな捉え方を知った」「子どもの特技を伸ばし、将来に生かしたい」「子どもの得意分野について、支援者が客観的に見て分かることもあるので、親子が地域で安心して生活するためにも積極的に伝えていきたいと思った」「環境を整えていく事の大切さや、教育現場の理解の必要性を感じた」等の感想が寄せられた。

○第３回（令和７年１２月３日（水）１０時００分～１２時００分）

発達障がい家族等支援事業と合同で開催した。特定非営利活動法人ぷちすてっ

ぷ理事長の安原優子氏を講師に招き、「性教育について」の講演会・茶話会を開催し、３８名が参加した。

講義では、障がいの有無にかかわらず一人の人間として尊重すること、安心して暮らすこと、これから起こる変化を知ること、自分の気持ちを表現することがとても大切であることが伝えられた。また、人間と性教育研究協議会四国ブロック幹事菊池準子氏による包括的性教育が紹介され、自分らしく幸せに生きるためにすべての人が包括的性教育について学ぶ権利があることを強調された。性教育は保護者だけで担うのではなく、保護者・学校・放課後等デイ等、それぞれの役割の中で連携し、日頃から情報共有や相談できるチーム体制を構築することの重要性を述べられた。

参加者からは「性を当たり前のこととして肯定的にとらえること、見通しを立てて事前に繰り返し学習していく事が大切だと思った」「性について聞かれたら放っておかず、正しく教えることで性犯罪防止につながると思った」「個人に合った性教育をしていくこと、発達特性に応じて視覚的支援を入れながら具体的に伝えていくことの大切さが分かった」等の感想が寄せられた。

〈子ども部会から提案・全体会に助言を求めたいこと等〉

・第２回子ども部会で不登校児の増加、障がいや発達に困りごとのある中高生の市内の居場所不足が課題提案されました。そこで部会員である保護者が、子どもたちの居場所の一つとして今年１月より中高生を対象にした「鉄道クラブ」を創設されたことを皆様にご報告いたします。立ち上げてくださったことに感謝申し上げると共に、市内の貴重な社会資源の一つとして、子どもたちが楽しく過ごせる居場所になればと願っております。

・不登校や引きこもり、障がいのある生徒は、卒業後、居場所や生涯学習の機会を失ってしまい、社会との接点がなくなってしまうという声があります。障がいの有無に関わらず共に活動できる居場所や生涯学習の場を作るために、活用できる社会資源のアイデアやご助言をいただきたいです。

・共働き世帯が増えている中で、小学校入学に伴う「小１の壁問題」の悩みが保護者の方々から寄せられています。
…保育園の時は早朝預かりがあり出勤時間に間に合っていたが、小学校は間に合わない
…仕事に間に合わないので不安だが鍵っ子にするしかなかった
…小学校入学のタイミングで転職をした、短時間勤務にした　　等
地域の課題として保護者の声を届けるには、どのような会が協議をする場として考えられるのか。